

第2学年 算数科 「長さのたんい」 (全10時間)
「長さをはかろう」(東京書籍・2年上)

指導のねらい 長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、長さが測定できるようにするとともに、長さについての量の感覚を身につけられるようにする。

◇ 単元の実際

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

第1次 長さのあらわし方とはかり方

① 長さのあらわし方を考える。

次ページ参照

- ◇任意単位の問題点に気づき、長さの表し方を考える。
 - ・間接比較や任意単位による測定を想起させ、解決の見通しを持たせる。
 - ・任意単位には限界があることを、活動を通して気づかせる。

②長さの単位「センチメートル」を知る。

- ◇長さの単位「センチメートル」を知る。
 - ・簡易ものさしを使って、「センチメートル」の必要性を考えさせる。

③長さの単位を用いて測る。

- ◇簡易ものさしで、いろいろな物の長さを測る。
 - ・具体的な測定活動を通して、測定の仕方を身に付ける。

第2次 長さのたんい

④長さの単位「ミリメートル」を知る。

- ◇はがきの長さを測り、1cm未満の長さの表し方を考える。
 - ・既習事項(位どり)を手がかりにして、「ミリメートル」の必要性を考えさせる。

⑤実際に身の回りのものを測る。

- ◇ものさしの目盛りを読む練習をする。
 - ・量感をもとに見当をつけ測定させる。

⑥直線の長さを測る。

- ◇直線の意味を知る。
 - ・「センチメートル」と「ミリメートル」の両方の単位を使って説明させる。

⑦指定された長さの直線を引く。

- ◇正しい直線の引き方を練習する。
 - ・個に応じた手立てを行い、ものさしを使った直線の引き方を習熟させる。

第3次 長さの計算

⑧長さの加減計算の仕方を知る。

- ◇折れ線全体の長さの比べ方を考える。
 - ・長さは加法や減法を用いて表すことができることを気づかせる。

第4次 単元の学習内容の理解を深める

⑨学習の理解を深め、活用する。

- ◇ものさしを使っていろいろな物の長さを測る。

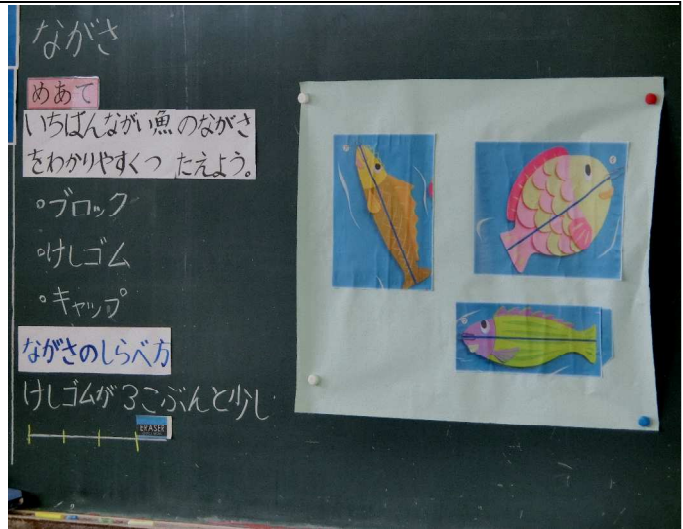
⑩「しあげの問題」に取り組み、単元の学習を振り返る。

- ◇適用問題に取り組み、理解を深める。

◇ 単元の課題解決にあたり思考力・判断力・表現力を要する活動の実際

①長さのあらわし方を考える。

- 長さのあらわし方を考えよう。
 - 身の回りのものが使えそうだね。何をしようかな。
- ◇消しゴム
 - ◇クリップ
 - ◇ブロック
- の魚の長さはどれだけだったかな。
- ◇ブロック6個分と少し。
 - ◇クリップ4個分ちょうど。

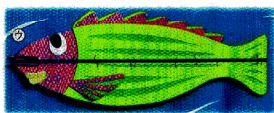


児童ワークシートより

2年算数ワークシート～長さ～名前

めあて

いちばんながい魚のながさをしやよう。



☆(クリップ)が(4)こぶんどりし

☆(ブロック)が(6)こぶんどりし

数かちがうのはなぜかな。

みんながしりしよのものをつかたよいかから。

まとめ

みんながしりしよのものをつかたよいかから。はからね。人によって数かちがう。1せいやくにおかたない。

適用問題は、本時のねらいに合わせて作成することができた。しかし、文字量が多く、読み取りに時間がかかった。

学習をふり返って

- 〈児童の第1時の振り返りより〉
- ◇魚の長さをはかるのをもっとしたいです。
 - ◇つぎは、ほかの人のしんちょうをはかりたいです。そして何cmかしりたいです。
 - ◇校長先生の魚は、もっと大きいものをはかりたいです。

2. 数値の違いについて考えよう。

- 人によって数が違うのはなぜかな。
- ◇ちがうものではかったから、正確につたわらないよ。
 - ◇同じものではかったほうがいい。
 - ◇ブロックとクリップと消しゴムの大きさがちがうから数がちがう。
 - ◇ものがちがうから、こたえもちがう。だから、おなじものをつかうといい。

2年算数ワークシート 名前

○魚のながさをしやりました。どのはんのはかち方が正しいのか、正しいものに○をつけしやよう。

<p>1ばん</p>	<p>1ばんのはかり方は、ねずみさんは、ブロック、大きさは、けしゴム、うさぎさんは、クリップではかりました。</p> <p>()</p>
<p>2ばん</p>	<p>2ばんのはかり方は、くまさんは、ブロック、りまさんは、クリップ、ねこさんは、クリップではかりました。</p> <p>()</p>
<p>3ばん</p>	<p>3ばんのはかり方は、ぞうさんは、ブロック、ゴアさんは、ブロック、キリンさんは、ブロックではかりました。</p> <p>()</p>

- 単元を終えて 成果 (○) と課題 (△)
- 手紙を使った導入にすることで、児童の興味・関心が高まった。
 - 任意単位から普遍単位への導入の際の話合いが活発になり、理解につながった。
 - △長さの単位換算では、計算上ではできるが、量として考えることは難しかった。